

日 時：平成26年9月18日(木)第2校時  
指導者：教育センター 所員 武富 美樹

1 題材名 日常着の手入れをしてみよう(内容C-(1)ウ)

2 指導観

最新の流行を採り入れながらも低価格に抑えた衣料品を、大量生産し、短いサイクルで販売するファストファッションは、その手軽さから消費者に歓迎されている。一方で、流行の移り変わりは早く、衣服はすぐに飽きられて捨てられ、家庭からの衣服のごみが増加してきている。本来、衣服は材料や汚れにあった手入れを行えば長く着ることができるものである。生徒たちが将来にわたって自立した衣生活を送ることができるようになるために、衣服の手入れについて学ぶことは大切であると考え。

本学級の生徒は、これまで衣服のはたらきや選択の仕方、補修の方法を学んでいる。授業には積極的に参加しており、三角巾の製作では、積極的に製作に取り組み、まつり縫いの技術が上達したことを喜んでいる。生徒たちに衣生活についてのアンケートを実施したところ、ふだんの洗濯は、全員が家族に任せていた。衣服の手入れについて「やっている」「やったことがある」と答えた生徒は、小学校家庭科でも学習した靴下等の手洗い54.3%、アイロンかけ31.4%、ボタン付け20.0%であった。また、家庭で最も行われる洗濯機による洗濯は45.7%が「やっている」「やったことがある」と答えた。しかし、衣服のブラシかけ(14.3%)、まつり縫いによる補修(11.4%)は経験している生徒が少なく、衣服の手入れは全くしたことがないという生徒も11.4%いた。衣服の購入ではサイズ(73.0%)、デザイン(64.0%)、価格(48.0%)、似合うかどうか(48.0%)などを重視しており、着用しなくなった理由には「成長しサイズが合わなくなった」(45.7%)からだけではなく、「飽きた・好みが変わった」(37.1%)、「ほころびた・ボタンが取れた」(17.1%)、「染みが付いた」(14.3%)などが挙げられていた。衣服に染みが付いたりボタンが取れたりした場合に、そのまま死蔵させたり廃棄したりするのではなく、適切に手入れや補修をして大切に長く着用しようという意識をもたせたい。

指導に当たっては、染み抜きやアイロンの温度による布への影響を調べる実験等を取り入れ、衣服の材料や汚れに応じた手入れの必要性を実感を伴って理解させたい。実際に体験させ、実験や観察から分かったことを話し合ったりまとめたりする活動を通して、基礎的・基本的な知識や技術の定着を図ることができると思われる。また、学んだ知識や技術を、日常生活の場面での衣服の手入れに生かす方法について考え、工夫させることを通して、適切な手入れを行えば、衣服は長く着用できることに気づかせ、自分自身で衣服の手入れを行おうとする態度を養いたい。

3 題材の指導目標

- ・ 衣服の手入れについて関心をもって学習活動に取り組み、衣生活をよりよくしようとする。
- ・ 衣服の手入れについて課題を見付け、その解決を目指して工夫している。
- ・ 衣服の材料や汚れに応じた日常着の手入れができる。
- ・ 衣服の手入れについて理解している。

4 題材の評価規準

【関心・意欲・態度】

- ・ 衣服の材料や汚れに応じた日常着の手入れに関心を持ち、実験等の学習活動に意欲的に取り組み、よりよい手入れの方法を工夫しようとしている。

【工夫創造】

- ・ 衣服の材料や汚れに応じた日常着の手入れや洗濯について考え、工夫している。

**【技能】**

- ・ 衣服の材料や汚れに応じた方法で日常着の手入れや洗濯ができる。

**【知識・理解】**

- ・ 衣服の材料の手入れにかかわる性質や汚れに応じた洗い方について理解している。

## 5 指導計画（全4時間）

学習過程	主な学習事項(学習課題)	時配	教師の主な支援
気づく (課題設定)	衣服の材料や汚れにあった手入れの方法を調べよう。 1 衣服に付く汚れの種類と手入れの方法を考える。	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常の生活を振り返らせ、思い起こさせる。</li> <li>・ 実験や観察の道具はトレーにまとめ、手順は実物を用いながら示す。</li> <li>・ アイロンや洗剤等の安全な取扱いについて留意点を確認する。</li> <li>・ 実験や観察の結果を振り返らせたり、VTRを見せたりすることで、基本的な事項の理解を促す。</li> <li>・ 学習したことを家族に伝えることを意識させる。</li> </ul>
見通し・ 追求する	2 実験や観察を行う。 ①ブラシかけの効果の観察 ②染み抜き実験 ③アイロンの温度による布への影響の実験  3 衣服の材料の手入れに関わる性質や洗剤の働きについて知る。  学習したことをまとめて、「衣服のお手入れガイド」を作成する(A5片面)。(課題)		
まとめ・広げる 見つけ・生かす	衣服の材料や汚れに応じた手入れや洗濯の方法を提案しよう。	1 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常生活の具体的な場面を想定させ、実験や観察から学んだ知識や技術を生かして、どのように手入れや洗濯をすればよいかを考えさせる。生徒のワークシートに他者にも分かるようにまとめさせる。</li> </ul>

## 6 本時の学習指導

## (1) 本時の指導目標

- ・ 衣服の材料や汚れに応じた手入れや洗濯に関心を持ち、日常生活の課題に取り組もうとしている。
- ・ 衣服の材料や汚れに応じた日常着の手入れや洗濯について考え、工夫している。

## (2) 本時の評価規準

**【関心・意欲・態度】**

- ・ 日常生活における衣服の材料や汚れに応じた手入れや洗濯について関心を持ち、手入れや洗濯の方法を考えたり、実践しようとしたりしている。

**【工夫創造】**

- ・ 日常生活における衣服の材料や汚れに応じた日常着の手入れや洗濯について、具体的な工夫を考えている。

(3) 指導の視点

衣服の手入れの指導において、実感を伴った理解を促すために、実験や観察などの実践的・体験的な活動を取り入れた授業を行う。その後、学習したことを「衣服のお手入れガイド」にまとめさせることで、知識や技術を整理させ定着を図る。

本時は、日常生活で衣服の手入れを行う場面を想定し、学んだ知識や技術を生かす工夫を考えさせる。その後、自分の考えを根拠を示しながら発表させ、相互に意見交換する学習活動を取り入れる。その際、生徒が思考の過程を記入し、それに沿って発表することができるような学習カードを作成し活用する。他者の意見を聞くことで、衣服の材料や汚れに応じた手入れや洗濯の必要性を再確認させると共に、よりよい工夫を考えさせ、家庭生活で実践しようとする態度を育てたい。

(4) 本時の学習指導過程(4 / 4時間)

過程	学習活動	形態	教師の指導・支援	評価とその支援
課題の把握	1 前時までの学習を思い出す。	斉 ↓	・実験や観察をしたこと、洗剤の働きについて学習したことなどを写真等を見せることで振り返らせる。	
	2 本時の学習課題を知る。			
	日常生活での衣服の手入れの方法を考えよう			
課題解決のた	3 日常生活の具体的な場面で、実験や観察したことを生かした、衣服の手入れの方法を考える。 理由も合わせて学習カードに記入する。	個 ↓ G	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な場面には、いくつか例示し、その中から各自でひとつ設定させる。</li> <li>・学校でみかん果汁が付いた</li> <li>・家でカレーが付いた</li> <li>・外出先でウーロン茶をこぼした</li> <li>・飲食店でミートソースが付いた</li> <li>・エプロン(綿)のアイロンかけ</li> <li>・シャツ(綿・ポリエステル混紡)のアイロンかけ</li> <li>・ユニフォーム(ポリエステル)のアイロンかけ</li> <li>・制服(毛)のアイロンかけ</li> </ul>	【関心・意欲・態度】(学習カード)机間指導を行い、書けていない生徒へは、普段の生活での経験や実験等の結果で分かったことを尋ね、自分でできそうなことを考えさせる。
	4 同じ場面を設定した者同士でグループをつくり、考えを発表し合い、意見交換をする。 意見交換の中で、参考になったことは、自分の学習		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習カードは、そのまま発表できる形式で作成し、全員が発表できるようにする。</li> </ul>	

<p>め の 準 備 ・ 実 践</p>	<p>カードに記録する。</p> <p>5 グループで出た工夫と理由をまとめ、発表する。</p> <p>6 他の班の発表を聞き、意見を出し合う。 意見交換の中で、参考になったことは、自分の学習カードに記録する。</p> <p>7 全体の発表や意見を聞いて、日常生活での衣服の手入れの方法を再度考え、衣服のお手入れガイドの「こんなとき、どうする？ Q&amp;A」に書き込む。</p>	<p>↓ 斉</p> <p>↓ 個</p> <p>↓</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表は色分けしたカードに、工夫と理由を分けて記入させ、黒板に掲示させる。そのうちの3～4グループに、説明をさせる。</li> <li>・意見はよいと思うことやもっと他に工夫できることなどを出すようにさせる。</li> <li>・意見交換が深まるように、出された意見について、他の生徒にも意見を求める。</li> <li>・明らかに誤った方法が出た場合は、他の生徒にも意見を求めながら、修正をする。</li> <li>・数名の生徒に発表させ、実践につなげるように励ます。</li> <li>・生徒の発言や黒板のカードをもとに、衣服の材料や汚れに応じて手入れをすることが大切であることを再確認させる。</li> </ul>	<p><b>【工夫創造】</b> (学習カード、衣服のお手入れガイド) 机間指導を行い、書けていない生徒へは、生徒から出された意見や黒板に掲示された工夫を参考にしよう助言する。</p>
<p>ま と め</p>	<p>8 自己評価をする。</p> <p>9 次時の予告を聞く。</p>	<p>個</p> <p>斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した知識や技能が実生活で生かされるように、再度促して終わる。</li> </ul>	